

第 2 章 地域の概要

第2章 地域の概要

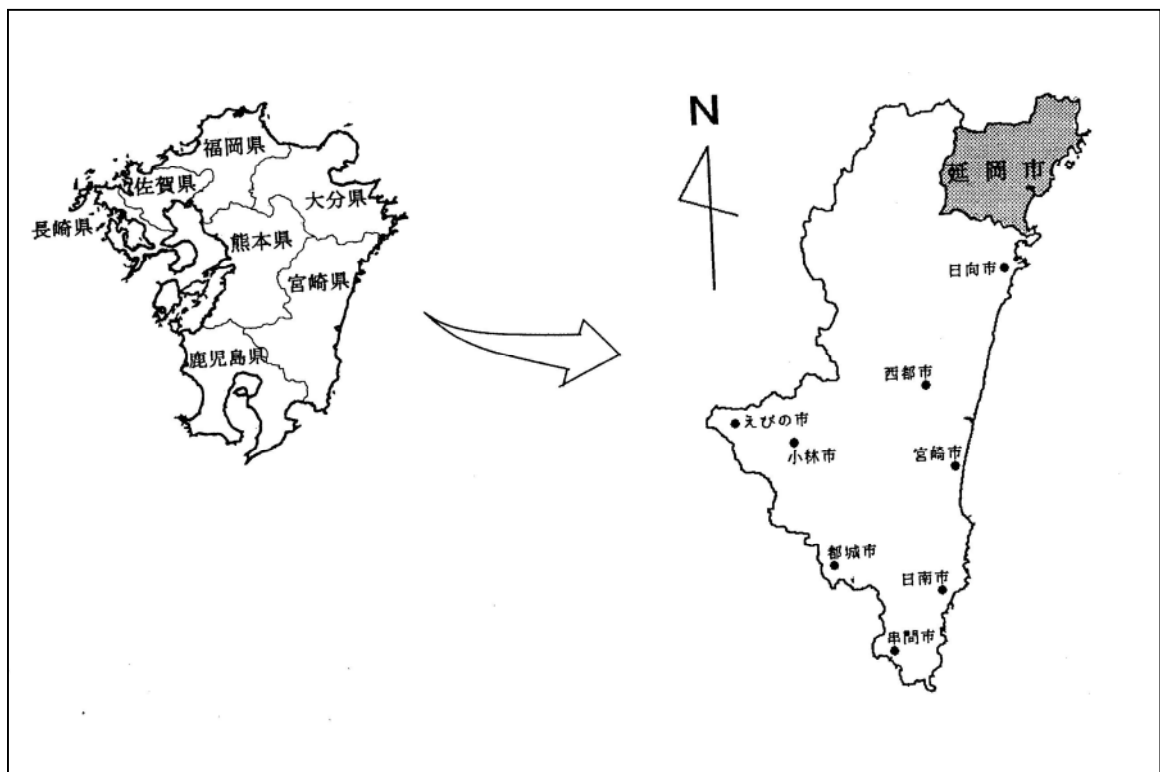
第1節 自然条件

1 地 形

本市は、宮崎県の北部に位置し、東は日向灘、南は門川町と美郷町、西は日之影町、北は大分県佐伯市に接している。総面積は、868.02 km²で県全体の約11%を占めており、九州の市町村では佐伯市に次いで2番目の広さを有している。

また、東の海岸線は山地が海に迫る日豊海岸国定公園北端のリアス式海岸であり、西方から北方にかけては九州山地が横たわっている。

図2 延岡市の位置



位置		ひろがり		面積
東経	北緯	東西	南北	
131° 39' 54"	32° 34' 56"	47.60km	38.69km	868.02km ²

2 気 象

本市は、気候温暖な地域にあり、年間平均気温は17℃前後である。また、年間降水量は2,000mmを超えることが多く、年間平均湿度も70%前後と多雨多湿であるが、日照時間2,000時間を超え日照にも恵まれている。

表3 気象年表（平成25年）

月	気温（℃）				降水量（mm）			日照時間（h）		風速（m/s）		
	最高	最低	平均	平年	最大 （日）	合計 （月）	平年		平年	最大	平均	最多 風向
1 月	16.5	-3.8	5.7	6.6	30.5	49.0	53.7	211.1	188.6	13.5	3.0	西
2 月	22.3	-0.9	8.2	7.7	21.0	93.0	74.1	174.4	172.4	14.3	2.7	西南西
3 月	25.1	0.3	12.8	10.7	14.0	33.5	164.3	199.7	173.7	13.8	2.9	西
4 月	25.1	4.1	14.5	15.3	90.5	172.5	214.5	229.1	183.3	13.4	3.1	西
5 月	30.7	6.9	19.7	19.1	40.5	88.0	242.9	234.6	179.7	8.4	2.4	西
6 月	35.0	16.9	22.5	22.3	138.5	499.5	354.3	74.8	137.1	8.8	1.6	西
7 月	37.2	20.9	27.5	26.1	21.5	69.0	264.4	254.8	194.2	9.0	2.0	西
8 月	37.0	18.9	28.3	26.7	24.5	68.5	269.8	258.0	202.2	7.4	2.1	西
9 月	33.2	13.9	24.3	23.8	59.0	236.5	334.8	175.9	157.6	15.6	2.7	西
10 月	30.7	8.8	20.2	18.7	99.5	377.5	180.0	167.8	177.9	13.4	3.1	西
11 月	23.6	1.4	12.9	13.5	13.0	24.5	94.6	197.7	166.8	12.0	3.0	西
12 月	17.2	-0.9	7.4	8.5	30.5	65.0	50.3	203.9	191.3	12.6	3.4	西
年間	37.2	-3.8	17.0	16.6	138.5	1776.5	2292.1	2381.8	2125.2	15.6	2.7	西

（資料：宮崎地方気象台）

3 水 象

(1) 河 川

本市内の水系は、図3に示すとおり1級河川の北川、祝子川、五ヶ瀬川の五ヶ瀬川水系と、2級河川の浜川、沖田川の沖田川水系がある。

河川ごとの水象は、表4に示すとおりである。

図3 本市内の水系



表4 河川ごとの水象

河川名	位 置	利 水 状 況
北 川 (小川を含む)	本市の北部を南北に貫流し、河口部で五ヶ瀬川に合流し、延岡湾に注いでいる。	農業用水、工業用水、水浴場、 発電用用水(農業用水、飲料水) 鮎、ウナギ、チョウザメの養殖
祝 子 川	本市の北寄りに位置し、五ヶ瀬川に合流している。	農業用水、工業用水、 水浴場、発電用用水、 ヤマメの養殖
五 ヶ 瀬 川	本市の中心部を東西に貫流し、延岡湾に注いでいる。	農業用水、工業用水、 水浴場、鮎の養殖
浜 川	市の中央に位置する愛宕山の北部を源に南に流れ、沖田川に合流している。	なし
沖 田 川	本市の南寄りに位置し、東西に貫流し、延岡湾に注いでいる。	農業用水

(2) 海 域

本市では、北川、祝子川、五ヶ瀬川、浜川、沖田川が延岡湾に、古江川、市振川、中港川、阿蘇川、宮野浦川が北浦湾に注いでいる。

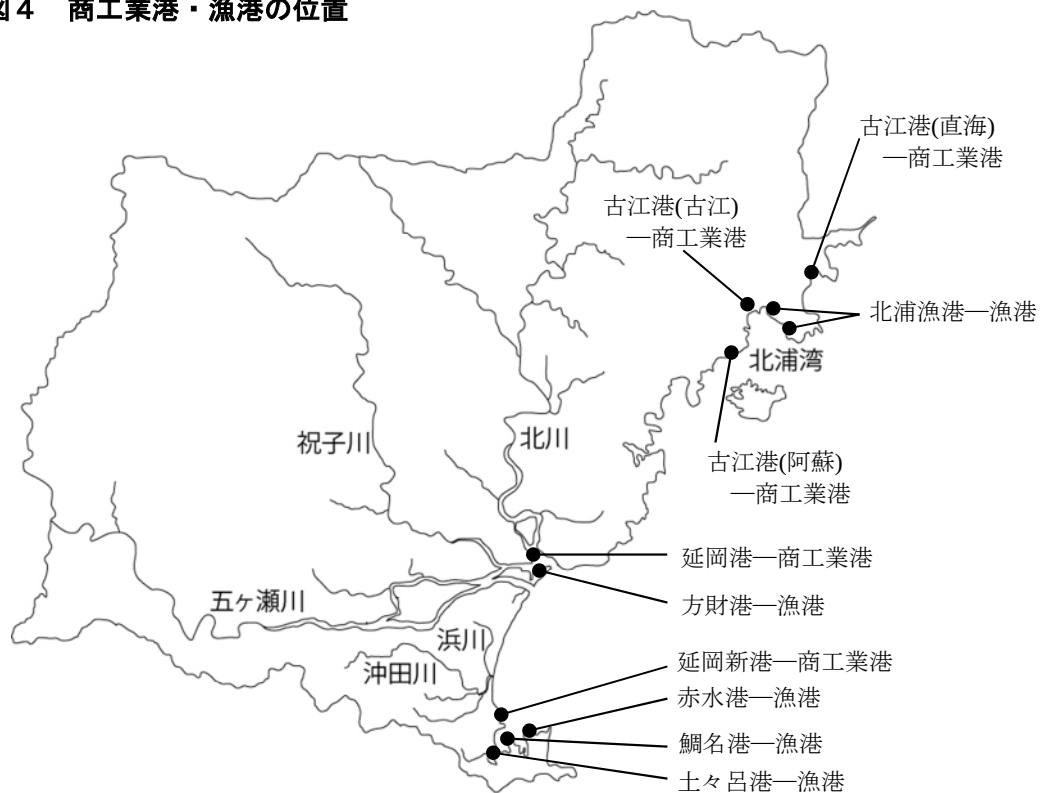
海域ごとの水象は表 5 に示すとおりである。

表 5 海域ごとの水象

海 域 名	潮 流 等	利 水 状 況
延岡湾	延岡市の湾口の長さは、約 11km で、ゆるやかな弧状を描いた海岸線を形成している。また、延岡湾の南部海岸は図 4 に示すとおり商工業・漁港として利用されるほか、海産魚介類の蓄養場として、この地域の漁業振興の一翼を担っている。日向灘沖合には、黒潮の流れがあり、この水域には反時計回りの環流、すなわち黒潮逆流が発達し、海況、漁況に重要な影響を及ぼしている。	トラフグ、タイ、ハマチ、カンパチ等の 養殖 水浴場
北浦湾	古江川、市振川、中港川、阿蘇川、宮野浦川が北浦湾に注いでおり、また北浦湾は昭和 50 年度浅海漁場開発事業により養殖場として、地域の漁業振興を担っている。	カンパチ、タイ、ハマチ、スズキ、マサバ、シマアジ等の養殖 水浴場

(資料：水産課)

図 4 商工業港・漁港の位置



第2節 人 口

本市の人口は、昭和8年の市政施行時には42,401人であったが、その後都市化とともに急激な増加を示し、昭和55年には136,598人と着実に増加してきたが、国勢調査では、昭和60年をピークに減少傾向となり、平成22年では131,182人となっている。

人口及び世帯数の推移については、図5及び表6に示すとおりである。（新延岡市は、平成17年10月1日確定値の合算（旧延岡市、旧北方町、旧北浦町、旧北川町）

また、平成22、26年度での流域ごとの人口は表7のとおりである。

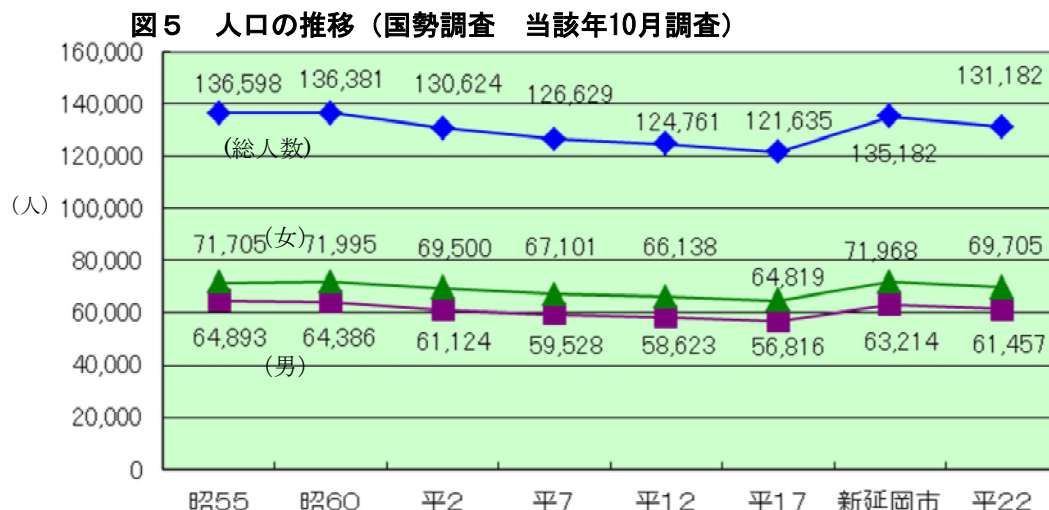


表6 世帯数及び1世帯当りの人口（国勢調査 当該年10月調査）

	昭和 60年	平成 2年	平成 7年	平成 12年	平成 17年	新 延岡市	平成 22年
世帯数	43,269	43,817	45,128	46,857	47,831	52,304	52,454
1世帯当りの人口	3.2	3.0	2.8	2.7	2.5	2.6	2.4

表7 流域ごとの人口

流 域 名	流 域 人 口 (人)	
	平成22年4月1日	平成26年4月1日
北川流域（小川含む）	15,471	14,795
祝子川流域	19,787	19,037
五ヶ瀬川流域	50,289	49,513
浜川流域	15,652	15,433
沖田川流域	21,635	21,074
北浦沿岸流域	3,493	3,209
その他の流域	7,289	6,771
合 計	133,616	129,832

第3節 都市環境

1 土地利用

本市の土地利用状況は平成25年度現在、地域総面積のうち、農用地（田、畑）3.7%、宅地2.4%、雑種地1.7%、その他（森林、原野、河川等）が89.6%となっている。

（資料：固定資産税課 「土地に関する概要調書」）

2 都市計画

本市の都市計画区域等は、平成26年4月1日現在、市街化区域が2,510ha、市街化調整区域が7,866haである。市街化区域のうち住居系地域（第1、2種低層住居専用地域・第1、2種中高層住居専用地域・第1、2種住居地域）は70.1%、商業系地域（近隣商業地域・商業地域）は8.8%、工業系地域（準工業地域・工業地域・工業専用地域）は21.2%の分布となっている。

なお、都市計画区域等の指定状況は表8及び図6のとおりである。

表8 都市計画区域の面積(ha) (平成26年4月1日現在)

行政区域面積		86,802
都市計画区域面積		10,376
市街化区域面積		2,510
用途 地 域 面 積	第1種低層住居専用地域	176
	第2種低層住居専用地域	29
	第1種中高層住居専用地域	119
	第2種中高層住居専用地域	569
	第1種住居地域	696
	第2種住居地域	170
	近隣商業地域	137
	商業地域	83
	準工業地域	234
	工業地域	71
	工業専用地域	226
市街化調整区域面積		7,866
都市計画区域外面積		76,426

（資料：都市計画課）

3 都市施設等

(1) 上水道

本市の上水道普及率は、平成26年3月31日現在で98.37%である。
水源地及び給水量等については図7に示す。

(2) 工業用水道

本市では、大正15年に祝子川、昭和3年に五ヶ瀬川、昭和12年に北川から工業用水の利用が開始され、平成12年度現在日給水量約66万8千 m^3 の給水能力を有している。

(3) 下水道

本市における下水道整備状況は、平成25年度末現在処理区域内人口97,760人、処理人口普及率75.3%である。

また、水洗化人口は88,843人であり、水洗化率は90.9%である。

一方、下水道終末処理場数は4カ所で処理能力は合計で64,656 m^3 /日である。

(4) 一般廃棄物処理施設

本市の一般廃棄物処理施設は、し尿処理施設（165 k ℓ /日）、ごみ処理（焼却）施設（109 t/日×2炉）、粗大ごみ処理施設（40t/日(5h)）、最終処分場（埋立容量155,000 m^3 ）、資源化施設（30 t/日(5h)）がある。

(5) 産業廃棄物処理施設

本市内の、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく届出等を要する産業廃棄物処理施設数は、平成25年度末現在で表9のとおりである。

表9 届出等を要する産業廃棄物処理施設（平成25年度末現在）

産業廃棄物処理施設	施設数
汚泥の焼却施設	2
汚泥の脱水施設	1
廃油の油水分離施設	3
廃油の焼却施設	2
廃プラスチック類の破碎施設	2
廃プラスチック類の焼却施設	1
木くず又はがれき類の破碎施設	19
その他の産業廃棄物の焼却施設	1
安定型最終処分場	2
管理型最終処分場	1

（資料：延岡保健所）

(6) 公園緑地等

本市の都市公園整備状況は、平成26年4月1日現在108箇所（面積162.99ha）設置されており、都市計画区域内地域住民1人当たりの公園面積は、約14.2㎡である。

表10 公園緑地等の箇所及び面積（平成26年4月1日現在）

区分		種別	箇所数	面積 (ha)	構成比 (%)
都市公園	住宅基幹公園	児童公園	77	15.82	9.7
		近隣公園	4	10.48	6.4
		地区公園	1	5.80	3.6
	都市基幹公園	運動公園	1	46.80	28.7
	特殊公園	特殊公園	5	47.90	29.4
	都市緑地	都市緑地	19	32.79	20.1
	緑道	緑道	1	3.40	2.1
	計		108	162.99	100.0
農村公園		農村公園	14	3.44	
漁村公園		漁村公園	9	3.09	
児童遊園		児童遊園	1	0.10	
合 計			132	169.62	

(資料：都市計画課)

第4節 生活排水処理施設整備状況

1 下水道の整備状況

本市における公共下水道事業については、昭和27年から当該事業に着手し、昭和43年5月1日に一ヶ岡終末処理場、昭和47年6月1日に妙田終末処理場が供用を開始している。

下水道の整備状況は、表11及び図8のとおりである。

表11 下水道整備状況（平成26年3月31日現在）

処理区名	流域名	運転開始年度	認可面積	普及状況		
				住民基本台帳人口(人)	供用区域人口(人)	人口普及率(%)
妙田処理区	五ヶ瀬川 北川 祝子川 浜川	S47	2,171.0ha	129,832	97,760	75.3
一ヶ岡処理区	沖田川	S43				
阿蘇処理区	北浦湾	H5				
直海処理区		H7				

2 し尿処理施設の整備状況

本市のし尿処理施設については、順次、旧施設、施設の更新、改修並びに浄化槽汚泥の専用施設の整備が進められてきた。

し尿処理施設の整備状況は表12のとおりである。

表12 し尿処理施設整備状況（平成26年3月31日現在）

名 称	延岡市衛生センター
所 在 地	延岡市東浜砂町1496
所 管	延岡市
敷 地 面 積	5,800m ²
処 理 能 力	165kl/日（し尿：68kl/日、浄化槽汚泥：97kl/日）
稼 動 開 始	平成3年4月
処 理 方 式	一次処理：嫌気性消化 二次処理以降：下水道投入
脱臭処理方式	高中濃度臭気：燃焼脱臭（清掃工場） 低濃度臭気：イオン交換樹脂吸着脱臭

（資料：資源対策課）

3 農業集落排水処理施設の整備状況

本市では、最初に祝子町の農業振興地域における農業集落排水事業を昭和 63 年度より実施しており、平成 3 年 12 月に排水処理施設が供用を開始している。その後、大野町、行滕町などで整備が行われた。なお、祝子処理区における農業集落排水事業は平成 24 年度に特定環境保全公共下水道へ変更となっており、平成 25 年度末現在 8 処理区で供用を開始している。

なお、農業集落排水処理施設の整備状況は表13及び図8のとおりである。

表13 農業集落排水処理施設の整備状況

処理区	事業名	流域名	地区名	処理(水洗化) 人口	工期年度
大野	農村整備 モデル事業	祝子川	大野 桑平 妙	4,016人	H4～H8
行滕	農業集落 排水緊急 整備事業	五ヶ瀬川	行滕 上舞野		H7～H9
大峽	農業集落 排水事業	北川	大挾 差木野		H10～H14
熊野江	農業集落 排水統合 補助事業	その他	熊野江		H13～H17
川水流	農業集落 排水事業	五ヶ瀬川	川水流		H3～H7
古江	農業集落 排水事業	北浦湾	古江 (浜中・ 本村・ 中野内)		S56～S63
市振	農業集落 排水事業	北浦湾	市振		S59～H元
地下	農業集落 排水事業	北浦湾	古江 (地下)		H4～H7

(資料：下水道課)

4 漁業集落排水処理施設の整備状況

本市では、島浦町及び北浦町宮野浦の漁業集落において漁業集落環境整備事業を進める中で、漁港及び周辺の公共用水域の水質浄化を目的とした漁業集落排水処理施設の整備を行っている。

なお、漁業集落排水処理施設の整備状況は表 14 及び図 8 のとおりである。

表14 漁業集落排水処理施設の整備状況

処理区	事業名	流域名	地区名	処理（水洗化） 人口	工期年度
島浦	漁業集落排水事業	その他	島浦	1,480人	H7～H12
宮野浦	漁業集落排水事業	北浦湾	宮野浦		S63～H元

（資料：下水道課）

5 合併処理浄化槽等の整備状況

本市における合併処理浄化槽の設置状況は表15に示すとおりである。

表15 合併処理浄化槽の設置状況（平成26年3月31日現在）

流域名	処理人口 (人)	流域人口 (人)	浄化槽整備区域並びに 下水道計画区域		
			処理人口 (人)	流域人口 (人)	整備率 (%)
北川流域(小川含む)	6,164	14,795	5,545	10,736	51.6
祝子川流域	1,433	19,037	1,326	5,161	25.7
五ヶ瀬川流域	5,551	49,513	5,386	10,271	52.4
浜川流域	2,052	15,433	2,052	5,090	40.3
沖田川流域	511	21,074	487	1,861	26.2
北浦沿岸流域	45	3,209	14	482	2.9
その他の流域	214	6,771	204	1,892	10.8
全流域	15,970	129,832	15,014	35,493	42.3

(資料：生活環境課)

第5節 水質の現状及び動向

1 環境基準の設定状況

本市における水域ごとの環境基準の設定状況は表16に示すとおりである。該当類型は、河川は「A A」、海域は「A」が、水質についての環境基準が最も厳しいものとなっている。

表16 環境基準の類型指定

(平成26年3月31日現在)

水 系		該当 類型	達成 期間	当初の指定年月日 又は最終見直し年月日
五 ヶ 瀬 川 水 系	北川 (川島橋より上流に流入する小川、大内谷川等の河川を含む)	A	イ	平成16年4月1日
	祝子川上流 (桑平橋より上流。祝子川の上流に流入する桧山谷川等の河川を含む)	A A	イ	昭和58年6月1日
	祝子川下流 (桑平橋より下流)	A	イ	平成16年4月1日
	五ヶ瀬川上流 (亀井橋より上流)	A	イ	昭和52年2月25日
	五ヶ瀬川下流 (亀井橋より下流)	A	イ	平成16年4月1日
	大瀬川上流 (大瀬橋より上流)	A	イ	昭和52年2月25日
	大瀬川下流 (大瀬橋より下流)	A	イ	平成16年4月1日
	三ヶ所川 (五ヶ瀬川合流点まで。三ヶ所川に流入する小谷川等の河川を含む)	A	イ	
	綱の瀬川 (五ヶ瀬川合流点まで。綱の瀬川に流入する猪の内谷川等の河川を含む)	A A	イ	平成4年4月1日
	曾木川 (五ヶ瀬川合流点まで。曾木川に流入する大保下川等の河川を含む)	A A	イ	
沖 田 川 水 系	細見川 (細見川に流入する西の小谷川等の河川を含む)	A A	イ	平成5年4月1日
	日之影川 (日之影川に流入する河川を含む)	A A	イ	平成7年4月1日
	沖田川下流 (沖田橋より下流)	B	イ	平成16年4月1日
	浜川 (全域)	D	イ	〃
延岡 湾 水域	延岡湾 (延岡市神戸町47番地の29地先黒礁と延岡市赤水町293番地の1地先鞍掛岬を結んだ直線及び陸岸に囲まれた海域)	海域 A	イ	平成16年4月1日
日 豊 海 岸 国 定 公 園 地 先 海 域	日豊海岸国定公園地先海域 (浦城湾を含む)	海域 A	イ	昭和52年2月25日
北 浦 湾 地 先 水 域	北浦湾 (北浦湾のうち日豊海岸国定公園を除く海域)	海域 A	イ	昭和56年5月15日

達成期間の分類について
 イ：直ちに達成
 ロ：5年以内に可及的速やかに達成
 ハ：5年を超える期間で可及的速やかに達成

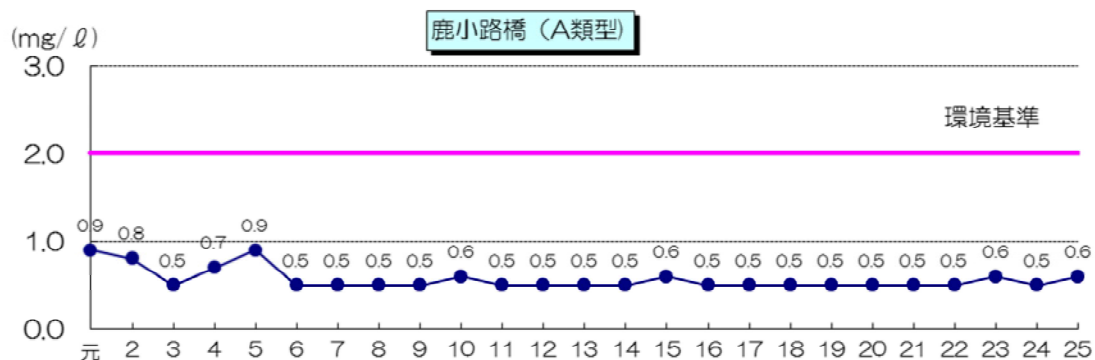
2 水質の現状及び動向

(1) 北川水域

北川水域における平成元年以降の経年変化を見ると環境基準点における水質（BOD75%値）は、環境基準を達成しており、良好な水質が保たれている。

なお、北川水域における水質の経年変化は図9に示すとおりである。

図9 鹿小路橋（A類型）におけるBOD75%値の経年変化

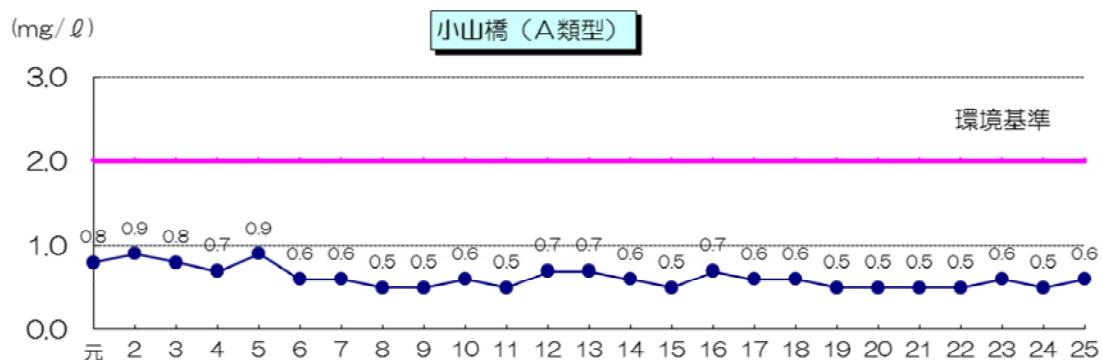


(2) 祝子川水域

祝子川水域における平成元年以降の経年変化を見ると環境基準点における水質（BOD75%値）は、環境基準を達成しており、良好な水質が保たれている。

なお、祝子川水域における水質の経年変化は図10に示すとおりである。

図10 小山橋（A類型）におけるBOD75%値の経年変化

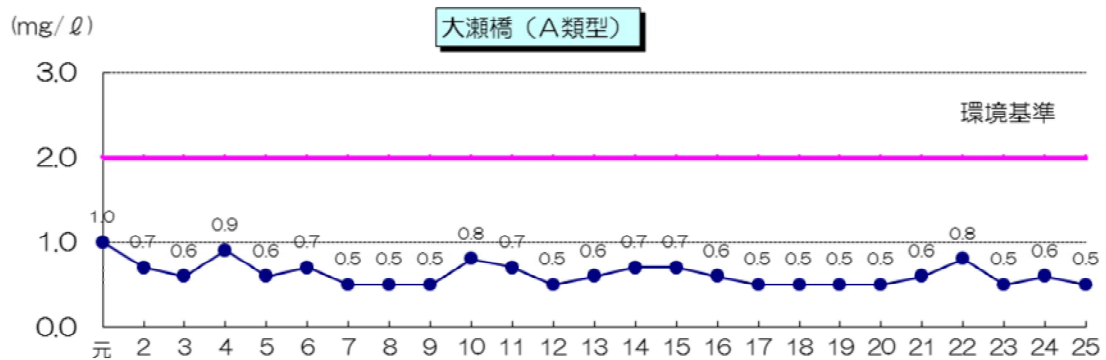


(3) 五ヶ瀬川水域

五ヶ瀬川水域における平成元年以降の経年変化を見ると環境基準点における水質（BOD75%値）は、環境基準を達成しており良好な水質が保たれている。

なお、五ヶ瀬川水域における水質の経年変化は図11に示すとおりである。

図11 大瀬橋におけるBOD75%値の経年変化



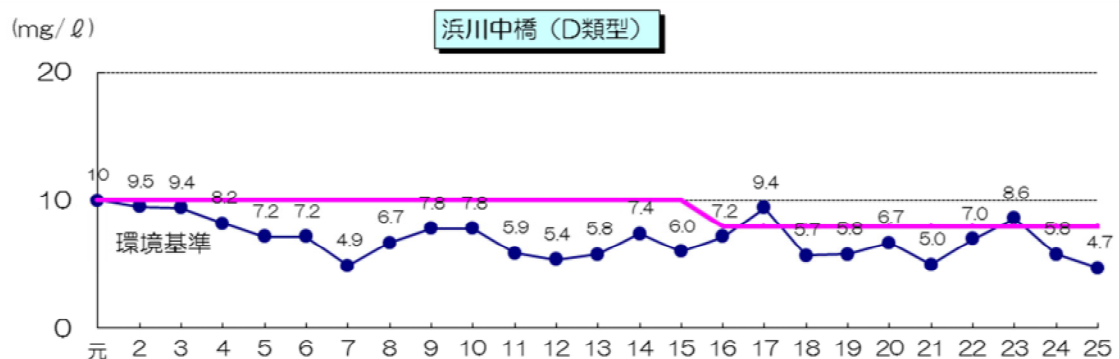
(4) 浜川水域

浜川水域における環境基準の類型は、平成16年4月に全域がE類型からD類型に変更され厳しくなりました。

浜川水域における環境基準点の水質（BOD75%値）の経年変化をみると、類型指定以来基準未達成が続いていたが、年々水質浄化の傾向にあり、平成元年度以降は、ほぼ環境基準を達成している。

この水域は、生活排水はもとより企業による工場排水があり、今後さらに水質保全を目的とした企業努力と生活排水の改善が望まれる。なお、浜川水域における水質の経年変化は図12に示すとおりである。

図12 浜川中橋におけるBOD75%値の経年変化



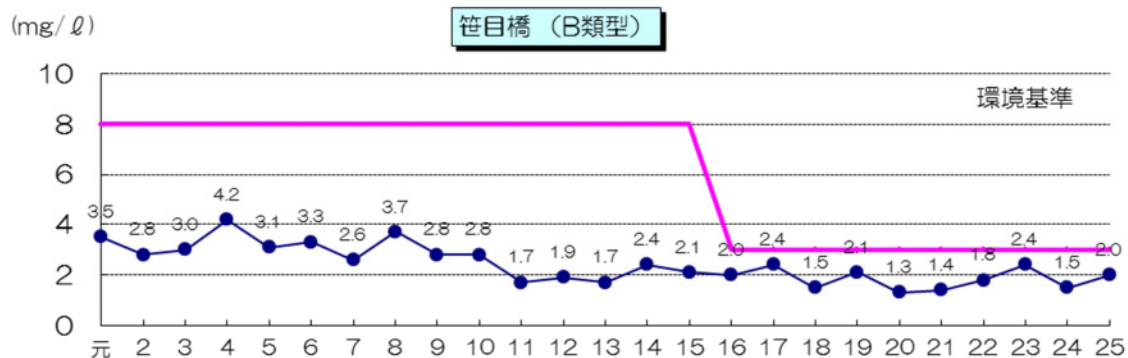
(5) 沖田川水域

沖田水域（沖田橋より下流）における環境基準の類型は、平成16年4月にD類型からB類型に変更され厳しくなりました。

沖田川水域における平成元年以降の経年変化を見ると環境基準点における水質（BOD75%値）は、環境基準を達成しており良好な水質が保たれている。

なお、沖田川水域における水質の経年変化は図13に示すとおりである。

図13 笹目橋におけるBOD75%値の経年変化



3 発生源別負荷量

生活排水の排出状況

表 17 流域別生活排水処理人口

年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度								
					北川	祝子川	五ヶ瀬川	浜川	沖田川	北浦沿岸	その他	合計	
計画処理区域内人口	133, 616	132, 854	131, 868	130, 938	14, 795	19, 037	49, 513	15, 433	21, 074	3, 209	6, 771	129, 832	
水洗化・生活雑排水処理人口	108, 749	107, 877	108, 048	108, 040	9, 604	15, 202	44, 628	12, 395	19, 700	2, 741	5, 083	109, 353	
	(1) 公共下水道 (特環含む)	85, 570	85, 531	85, 534	86, 795	3, 594	13, 428	38, 159	10, 343	19, 213	475	3, 631	88, 843
	(2) 合併処理浄化槽	16, 568	15, 044	15, 302	15, 086	5, 545	1, 326	5, 386	2, 052	487	14	204	15, 014
	(3) 農業集落排水処理施設	4, 998	5, 700	5, 657	4, 622	465	448	1, 083	0	0	1, 729	291	4, 016
	(4) 漁業集落排水処理施設	1, 613	1, 602	1, 555	1, 537	0	0	0	0	0	523	957	1, 480
	水洗化・生活雑排水未処理人口 (単独処理浄化槽)	14, 370	15, 535	15, 082	16, 073	3, 631	2, 790	3, 502	2, 558	940	348	1, 241	15, 010
	非水洗化人口	10, 497	9, 442	8, 738	6, 825	1, 560	1, 045	1, 383	480	434	120	447	5, 469
計画処理区域外人口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	